

議題 5 「豊肥医療圏における初期救急医療及び在宅医療」

豊 肥 保 健 所

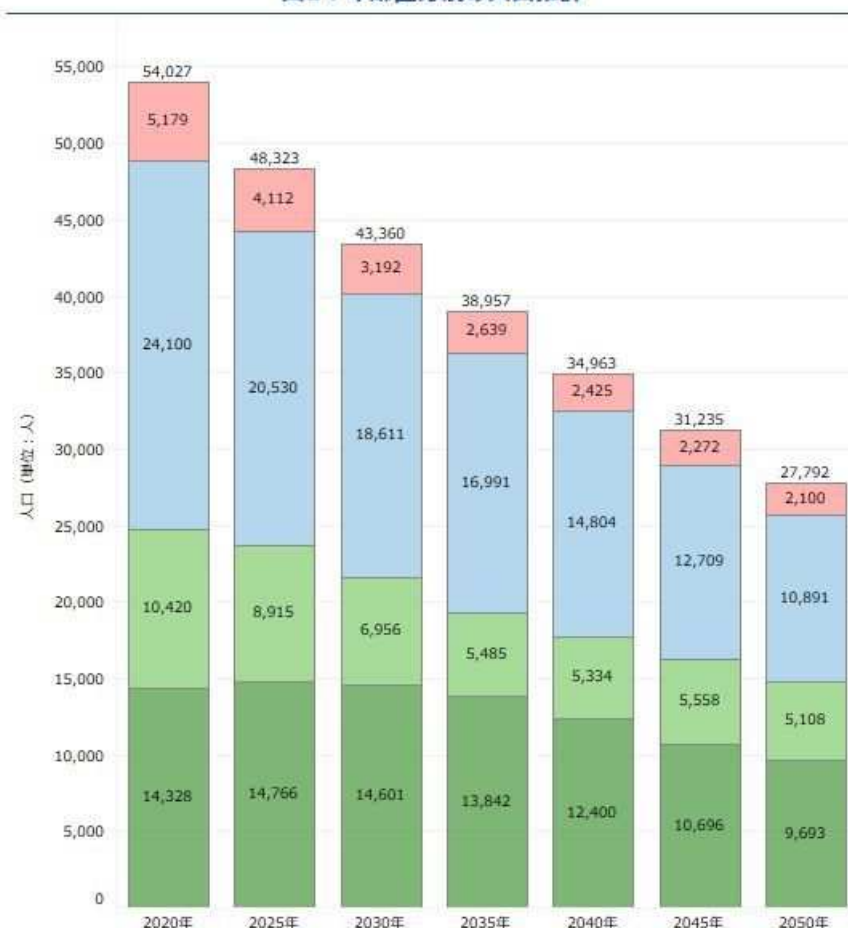
人口動態

年齢区分別人口推計：豊肥医療圏

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

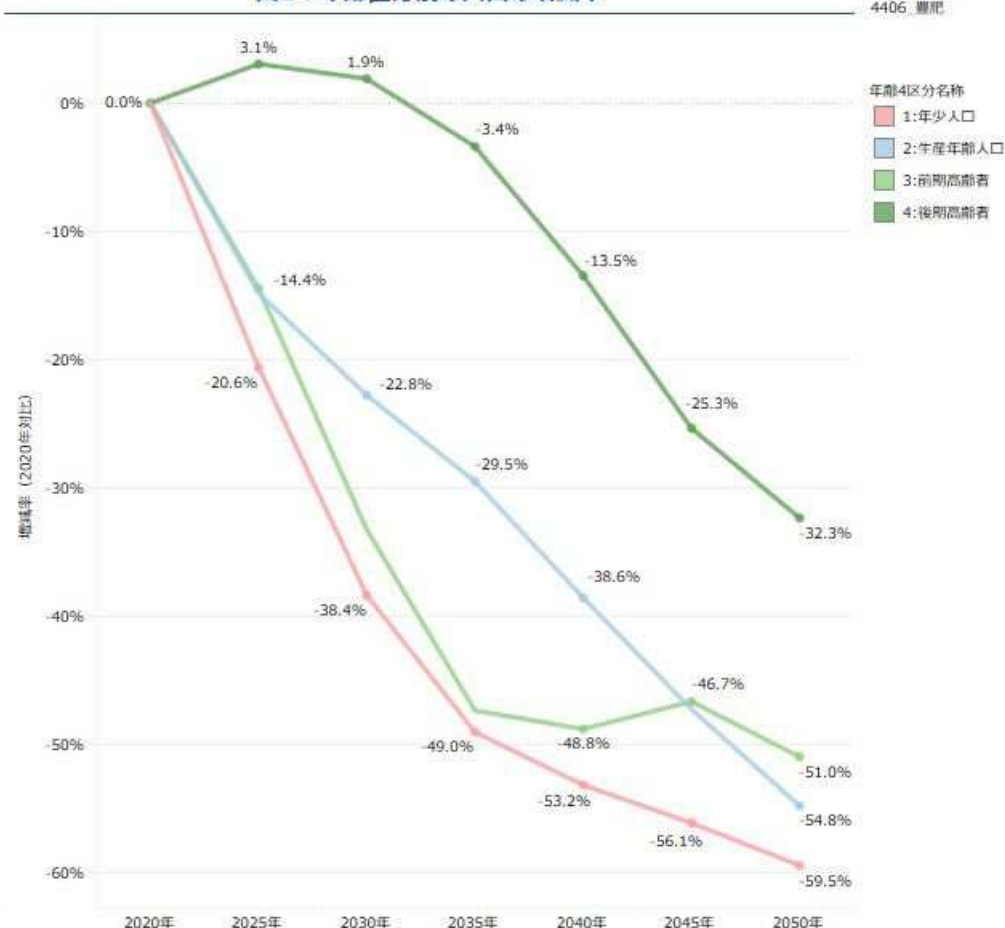
- ・ 総人口は既にピークを迎えており、2050年に対2020年比で26千人（49%）減少する見込み。
- ・ 生産年齢人口は2020年にピークを迎えており、高齢者の占める割合が増加することが予想されるため、将来的な医療供給体制の維持に懸念がある。

図1：年齢区分別の人口推計



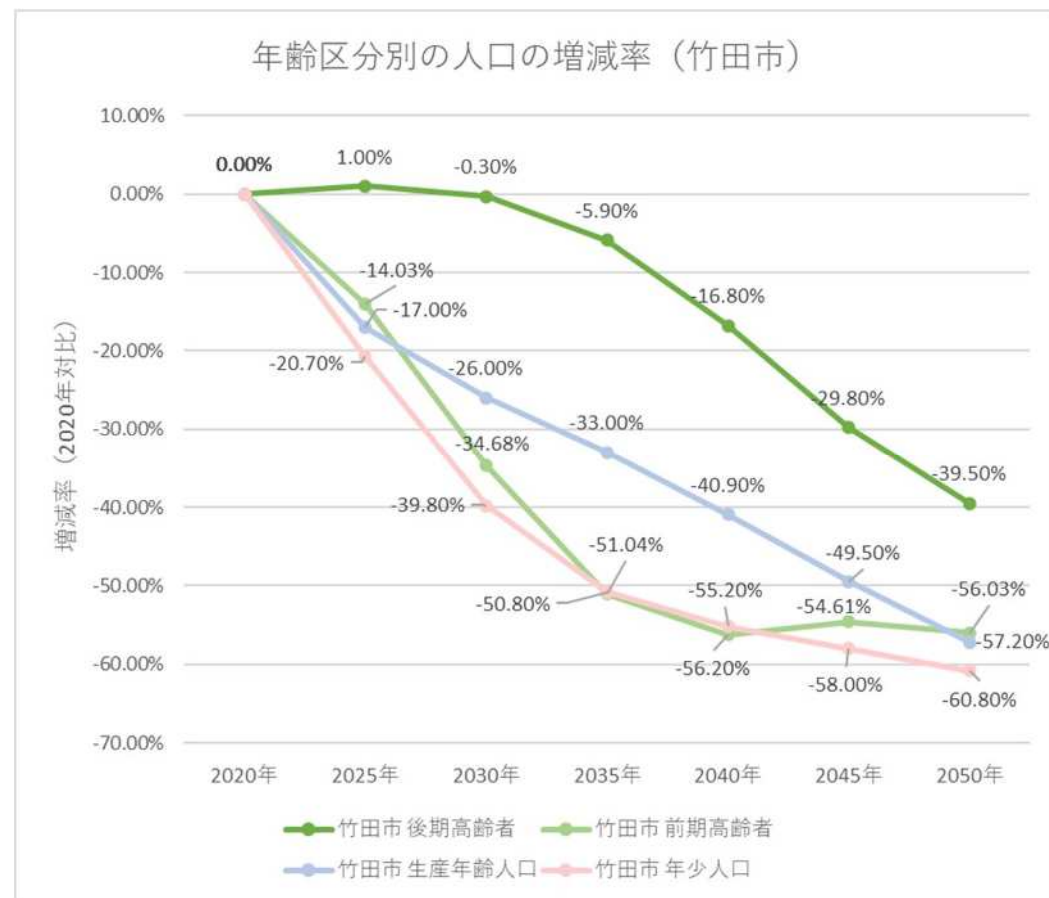
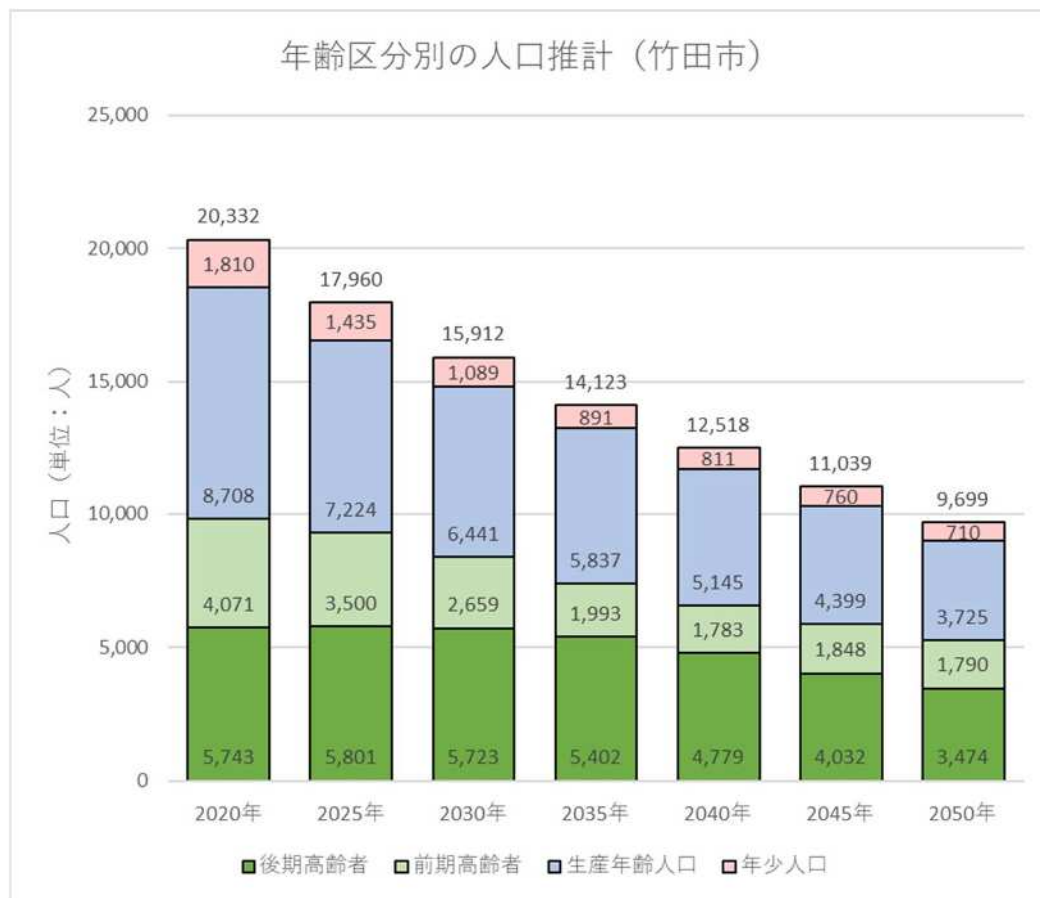
出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

図2：年齢区分別の人口の増減率



人口動態 年齢区分別人口推計：竹田市

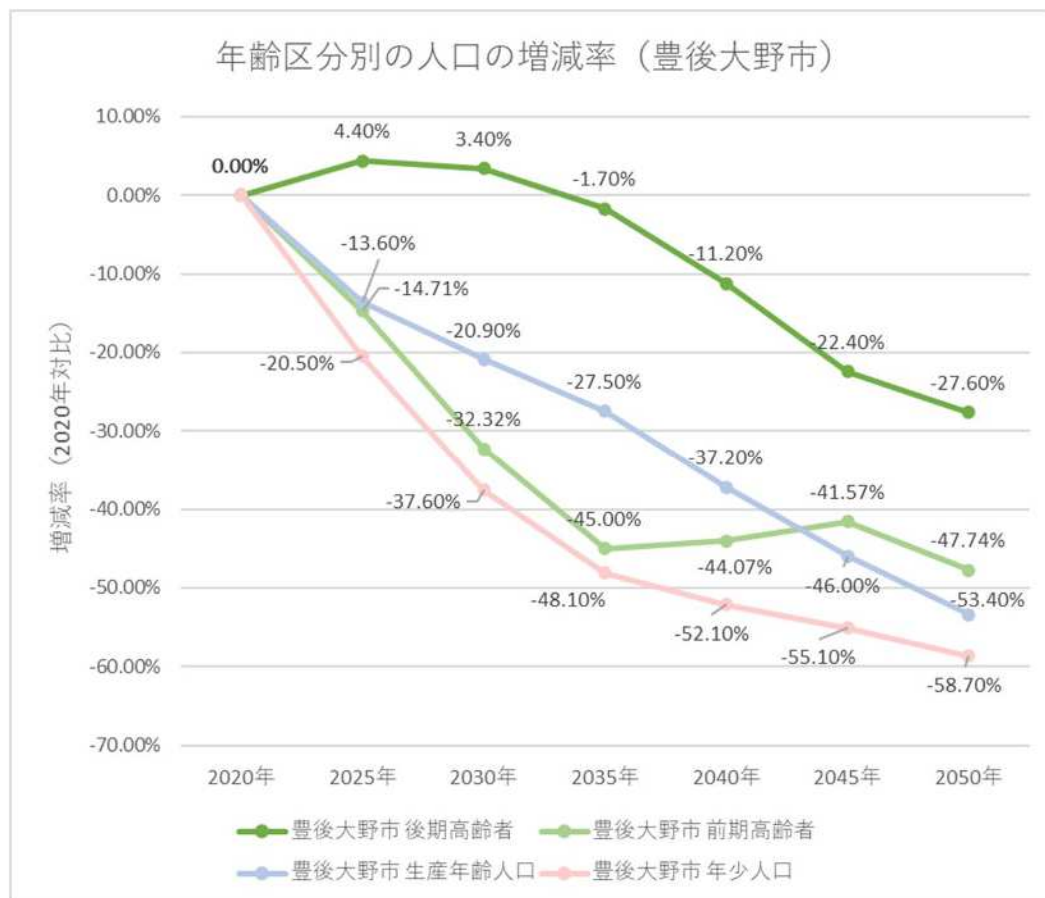
- ・竹田市では、2050年に2020年比で約10千人（52%）減少する。
- ・2020年の高齢化率は約48%に対し、2050年の高齢化率は54%と高齢者の占める割合が増加。



（出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口令和5(2023)年推計」）

人口動態 年齢区分別人口推計：豊後大野市

- ・ 豊後大野市では、2050年に2020年比で約15千人（46%）減少する。
- ・ 2020年の高齢化率は約44%に対し、2050年の高齢化率は53%と高齢者の占める割合が増加。



（出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口令和5(2023)年推計」）

高齢者世帯の状況：豊肥医療圏

- ・豊肥医療圏の総世帯数はH22（2010年）から減少傾向にあるが、竹田市、豊後大野市ともに高齢者単独世帯数は増加傾向にある。

○高齢者世帯の状況（竹田市）

竹田市	H22年	H27年	R2年
高齢者のいる世帯	6200	6054	5852
高齢者単身世帯	1631	1725	1881
高齢夫婦のみ世帯	1587	1606	1597
その他高齢者世帯	2982	2723	2374
総世帯数	9543	9046	8677
高齢者のいる世帯の割合	65.0%	66.9%	67.4%

○高齢者世帯の状況（豊後大野市）

豊後大野市	H22年	H27年	R2年
高齢者のいる世帯	9172	9084	8890
高齢者単身世帯	2306	2494	2723
高齢夫婦のみ世帯	2383	2411	2380
その他高齢者世帯	4483	4179	3787
総世帯数	14801	14268	13720
高齢者のいる世帯の割合	62.0%	63.7%	64.8%

（出典：国民生活基礎調査）

医師数（医療施設従事者）の推移：豊肥医療圏

- ・ 豊肥医療圏の医師数（医療施設従事者）は、**2008年**から横ばいとなっている。
 - ・ 県全体の医師数は増加傾向にあり、医師数の地域間格差が生じていると考えられる。
- ➡ 豊肥医療圏の医療施設における医師確保が課題

○医師数（医療施設従事者）の推移

（単位：人）

	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
大分県	2839	2931	3040	3054	3115	3148	3227	3298
豊肥医療圏	107	107	107	100	113	115	108	109
竹田市	35	38	37	33	40	43	39	37
豊後大野市	72	69	70	67	73	72	69	72

○医師数（医療施設従事者）の推移（人口10万対）

（単位：人）

	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
全国	212.9	219.0	226.5	233.6	240.1	246.7	256.6	262.1
大分県	236.6	245.0	256.5	260.8	268.5	275.2	287.1	297.9
豊肥医療圏	163.3	167.5	172.5	166.5	195.1	206.9	199.9	201.8

（出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

薬剤師数（薬局従事者、医療施設従事者）の推移：豊肥医療圏

- ・豊肥医療圏の薬剤師数（薬局従事者）は、2012年にピークを迎え、以降は減少傾向。
- ・豊肥医療圏の薬剤師数（医療施設従事者）は、2008年から横ばいとなっている。
- ・豊肥医療圏の薬剤師数を人口10万対で比較した際、県平均・全国平均を大きく下回る。
- ・県全体の薬剤師数（薬局従事者、医療施設従事者）は増加傾向にあり、薬剤師数の地域間格差が生じていると考えられる。

○薬剤師数（薬局従事者）の推移

（単位：人）

	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
大分県	1099	1166	1242	1289	1324	1361	1412	1461
豊肥医療圏	60	68	70	66	68	62	63	59
竹田市	16	19	18	17	16	13	15	15
豊後大野市	44	49	52	49	52	49	48	44

2022年（人口10万対）
132.0
113.8

（全国）152.7人

○薬剤師数（医療施設従事者）の推移

（単位：人）

	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
大分県	541	552	555	566	588	595	629	617
豊肥医療圏	18	17	19	17	15	18	21	20
竹田市	8	7	8	6	4	10	9	8
豊後大野市	10	10	11	11	11	8	12	12

2022年（人口10万対）
55.7
38.5

（全国）50.0人

（出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

看護師数の推移：豊肥医療圏

(注) 本数値は看護師の全数であり、医療施設従事者数とは異なる。

- ・ 豊肥医療圏の看護師数は、2012年から増加傾向となっている。
- ・ 全国の人口10万あたりの看護師数は、増加傾向にある。
- ・ 豊肥医療圏の看護師数を人口10万対で比較した際、県平均を下回るが、全国平均を上回る。

○看護師数の推移

(単位：人)

	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
管内	419	529	562	591	604	641
竹田市	145	178	180	180	188	230
豊後大野市	274	351	382	411	416	411

○看護師数の推移（人口10万対）

(単位：人)

	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
全国	796.6	855.2	905.5	963.8	1015.4	1049.8
大分県	1073.4	1151.3	1215.2	1276.2	1339.6	1418.2
豊肥医療圏	674.9	879.4	988.5	1063.4	1135.9	1236.3

准看護師数の推移：豊肥医療圏

(注) 本数値は准看護師の全数であり、医療施設従事者数とは異なる。

- ・ 豊肥医療圏の准看護師数は、2012年から多少の増減はあるが、横ばい傾向となっている。
- ・ 全国の人口10万あたりの准看護師数は、減少傾向にある。
- ・ 豊肥医療圏の人口10万対あたり准看護師数は、県平均・全国平均を大きく上回る。

○准看護師数の推移

(単位：人)

	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
管内	340	395	384	357	351	310
竹田市	171	185	206	179	183	165
豊後大野市	169	210	178	178	168	145

○准看護師数の推移（人口10万対）

(単位：人)

	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
全国	280.6	267.7	254.6	240.8	225.6	203.5
大分県	527.6	520.2	505.6	485.0	485.0	429.2
豊肥医療圏	547.7	656.7	675.4	642.3	660.1	597.9

(出典：厚生労働省「衛生行政報告例（隔年報）」)

病院における看護職員の募集人員に対する充足状況

- ・直近の豊肥医療圏の看護職員（病院）の募集数と採用数を確認すると、看護職員数が不足している。
- ・竹田市においては、看護職員（病院）の充足率は50%を下回る。

看護職員の募集人員に対する充足状況

（R2～R6年度当初採用充足者数の平均）

	大分市	臼杵津久見	由布	別府	杵築・日出	国東	佐伯	竹田	大野	日田	玖珠九重	宇佐	中津	高田
募集数	1,745	127	497	794	151	83	288	116	134	308	23	122	346	73
採用数	1,354	83	397	656	113	42	200	56	91	211	14	84	310	60
不足数	391	44	100	138	38	41	88	60	43	97	9	38	36	13
充足率（%）	77.6%	65.4%	79.9%	82.6%	74.8%	50.6%	69.4%	48.3%	67.9%	68.5%	60.9%	68.9%	89.6%	82.2%

※ 集計は「病院」のみを対象としている点に注意

（医療政策課：看護職員の確保定着に関する実態調査）

一般診療所数の推移と医療機関数の比較：豊肥医療圏

- ・直近10年間で豊肥医療圏の一般診療所数に大きな変化はない。
- ・診療所医師が年齢により引退し、承継や新規開業がない場合、今後、診療所数が減少すると思われる。
- ・豊肥医療圏の人口10万対あたりの病院・診療所数は全国平均を大きく上回る。



○医療機関別の施設数及び人口10万対施設数（2024.10.1時点）

		病院	一般診療所	歯科診療所
管内		6	55	21
竹田市		3	25	6
豊後大野市		3	30	15
人口10万対	全 国	6.5	84.4	53.7
	大 分 県	13.8	86.4	46.9
	管 内	11.9	108.6	41.5

（単位：施設）

（出典：厚生労働省「医療施設（動態）調査」）

医療需要

入院・外来別推計患者数：豊肥医療圏

2025/3/14

大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 入院需要および外来需要は2020年に既にピークを迎えており、以降減少すると予想される。

図1：入院患者数の将来推計

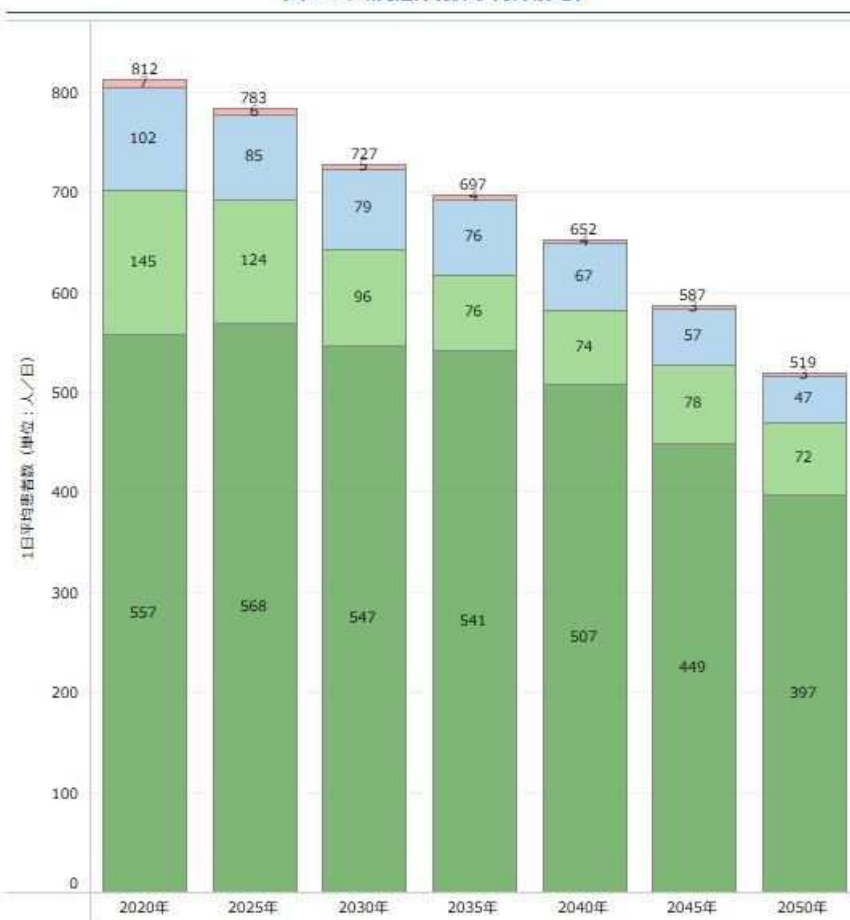
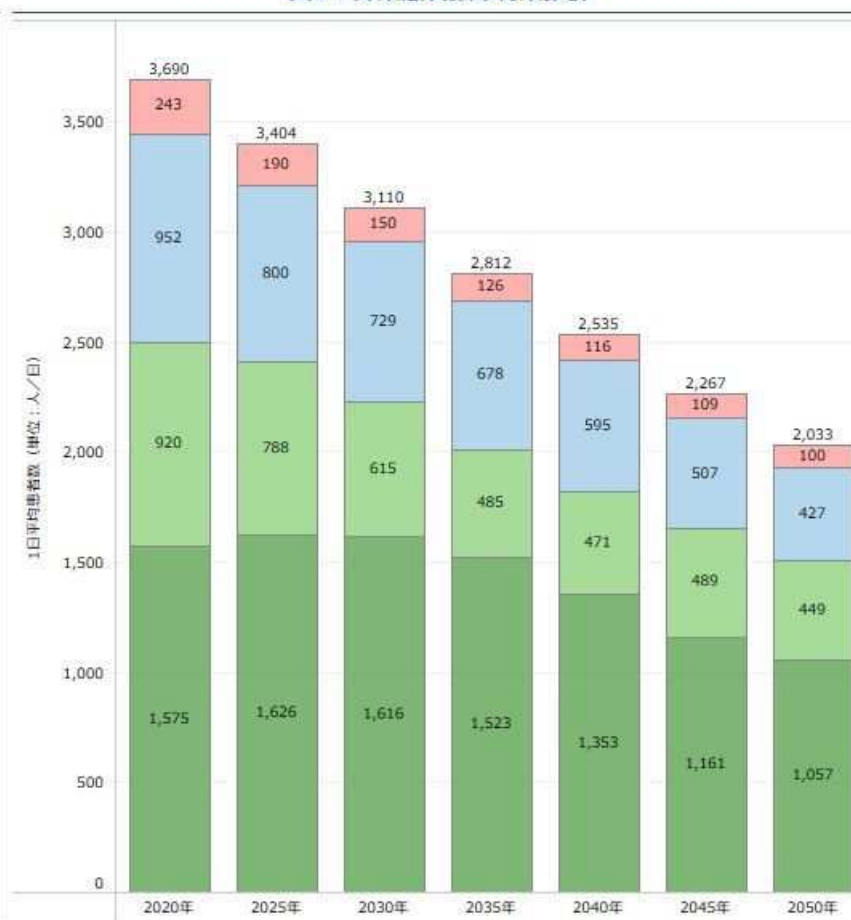


図2：外来患者数の将来推計



二次医療圏
4406_豊肥

年齢4区分名称
1:年少人口
2:生産年齢人口
3:前期高齢者
4:後期高齢者

出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）及び患者調査（厚生労働省）を用いて推計

医療需要

DPC請求を行う推計患者数：豊肥医療圏

2025/3/14

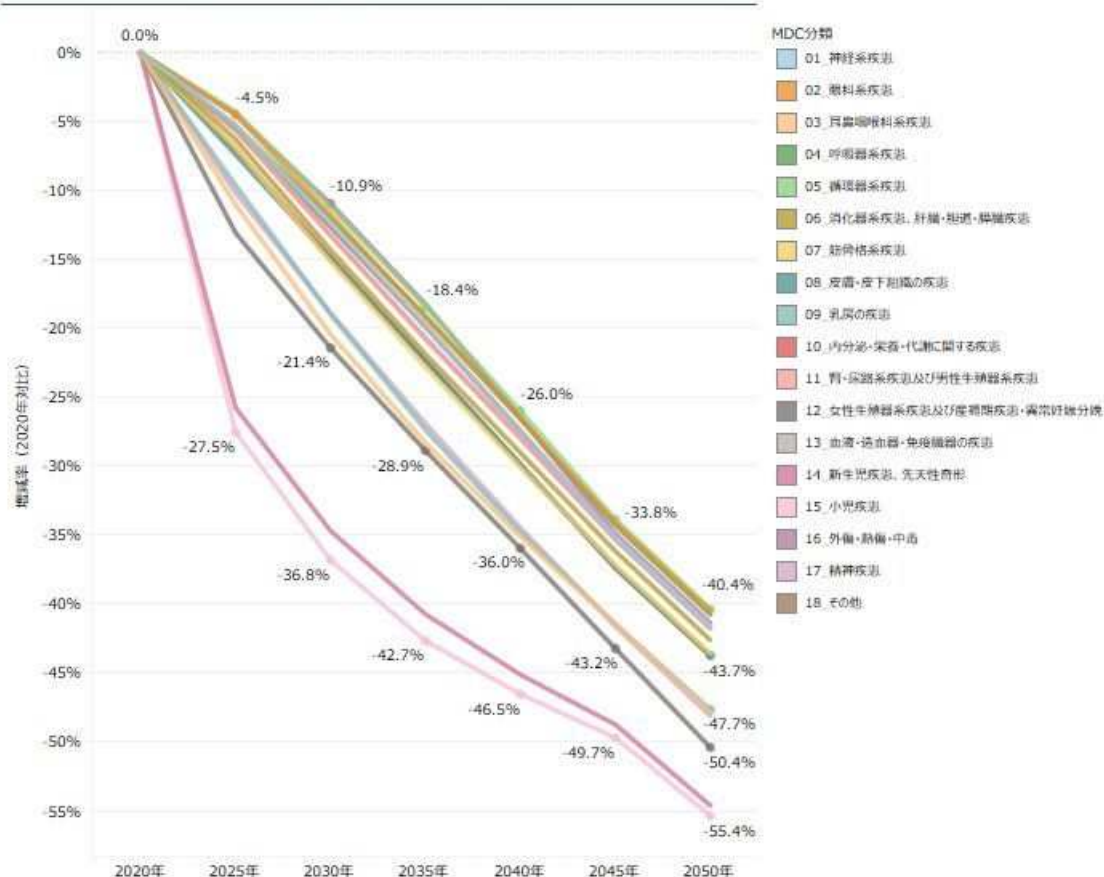
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 急性期医療需要は2020年に既にピークを迎えており、以降減少すると予想される。
- MDC別では小児・周産期系および女性生殖器系の疾患患者数が著しく減少する見込み。

図1：MDC別の退院患者数の将来推計



図2：MDC別の退院患者数の増減率



出典：「人口推計（2019年10月1日現在）」（総務省統計局）及び「令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査 退院患者調査」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算
その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計
1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算

医療供給体制

DPC症例からみた地域完結率①

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- DPC症例の地域完結率は50%弱であり、約半数以上は他医療圏へ流出している。
- 2016年度以降、医療圏内での完結率に大きな変化はない。

⑤（地域）患者数の流入

- 完結率が100%より低い場合は、対象の医療圏の患者が別の医療圏の医療機関へ入院している患者が多く、**流出傾向**にある可能性があります。
- 完結率が100%より高い場合は、別の医療圏の患者が対象の医療圏の医療機関へ入院している患者が多く、**流入傾向**にある可能性があります。

年度

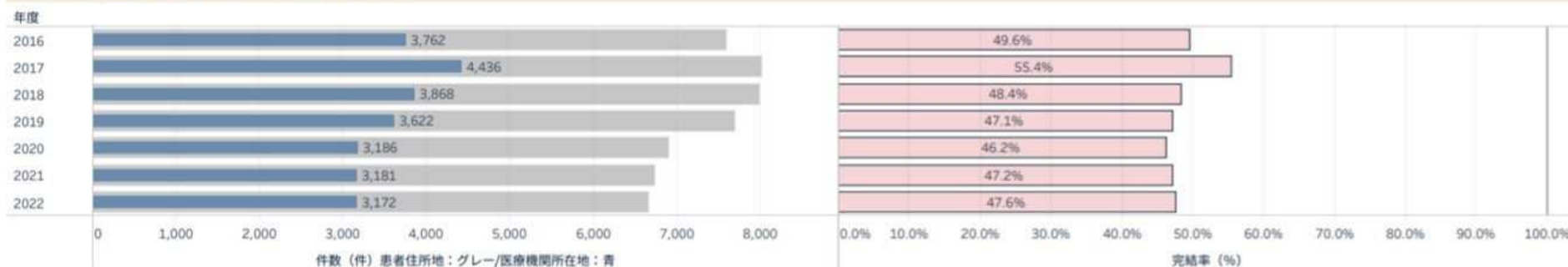
2022年度

設定中のBM条件：44_大分県

流入（医療圏別）_2022年度



流入（年度推移）_4406_大分県_豊肥



医療供給体制

DPC症例からみた地域完結率②

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

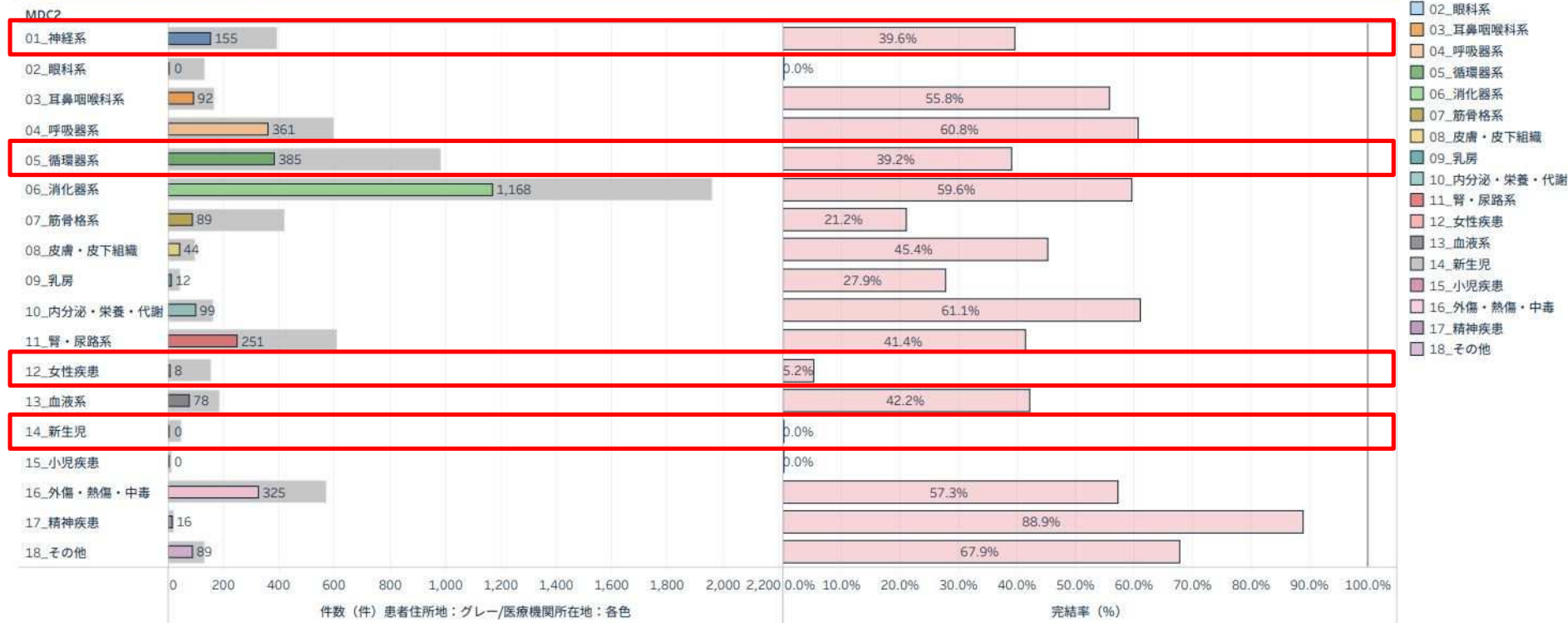
- MDC別の地域完結率は総じて100%を下回っている。
- 眼科系、新生児、小児疾患は完結率が0%であり、治療が必要な場合はすべて他医療圏での受診が必要である。

⑥ (地域) MDC別患者数の流入

- 完結率が100%より低い場合は、対象の医療圏の患者が別の医療圏の医療機関へ入院している患者が多く、**流出傾向**にある可能性があります。
- 完結率が100%より高い場合は、別の医療圏の患者が対象の医療圏の医療機関へ入院している患者が多く、**流入傾向**にある可能性があります。

年度 2022年度
設定中のBM条件：44_大分県_4406_大分県_豊肥 (すべて)

流入 (MDC別) _2022年度



医療供給体制 DPC症例数の推移：豊肥医療圏

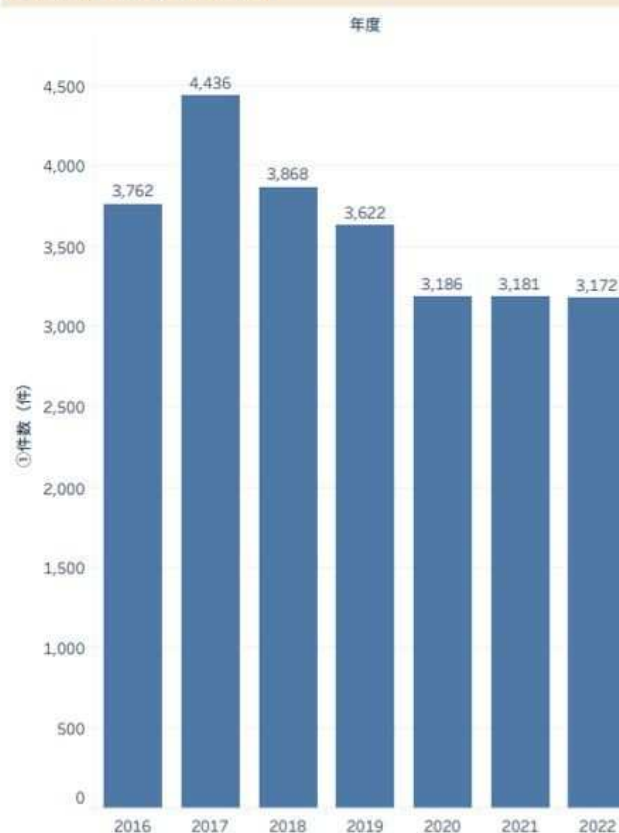
2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり2020年に患者数が急減している。

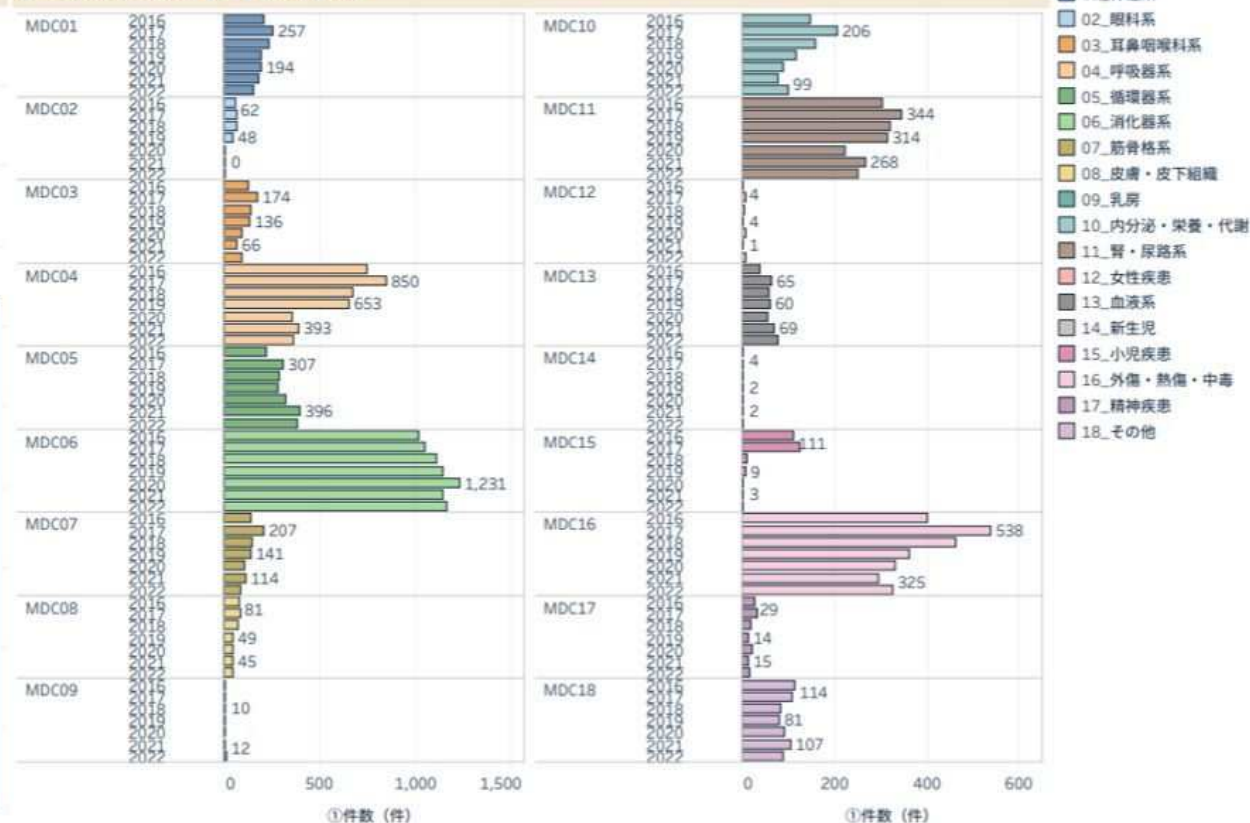
③ (地域) MDC別患者数の推移

開始年度 2016年度 ~ 終了年度 2022年度 病院類型 すべて 設定中のBM条件：44_大分県_4406_大分県_豊肥_ (すべて)

① 退院患者数 (地域全体)



MDC別退院患者数 (地域全体)



医療供給体制

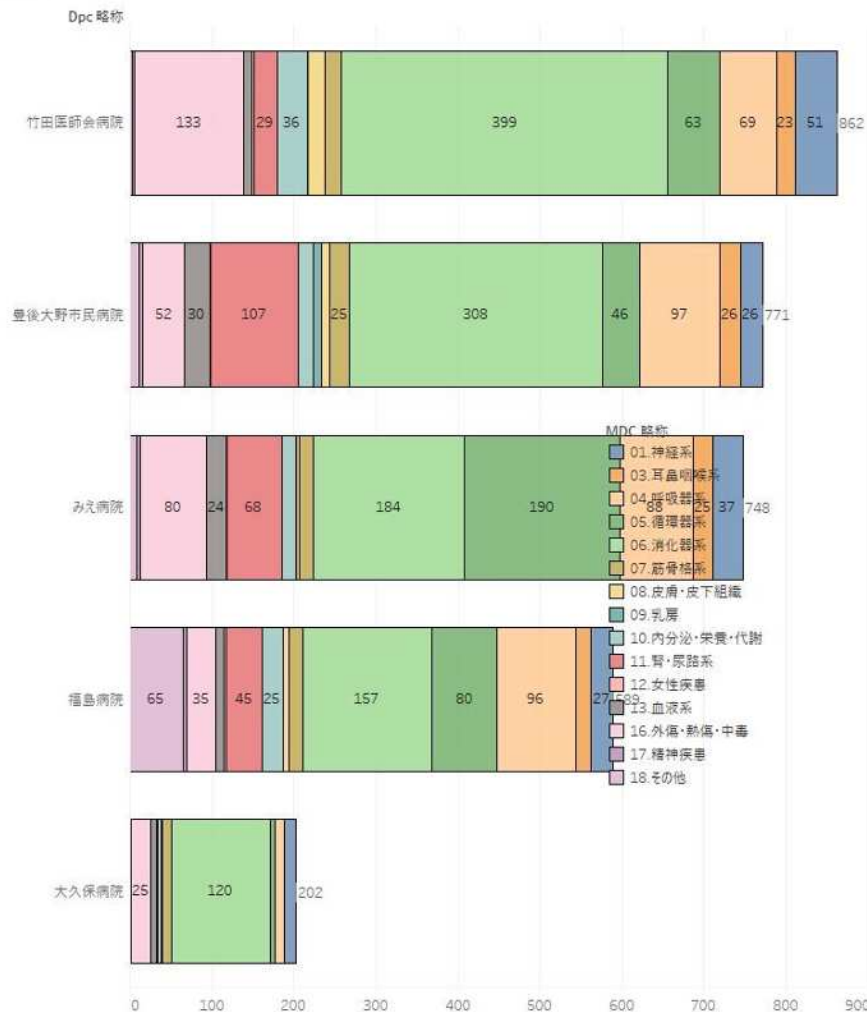
医療機関別DPC症例数とMDC別シェア率

2025/3/14

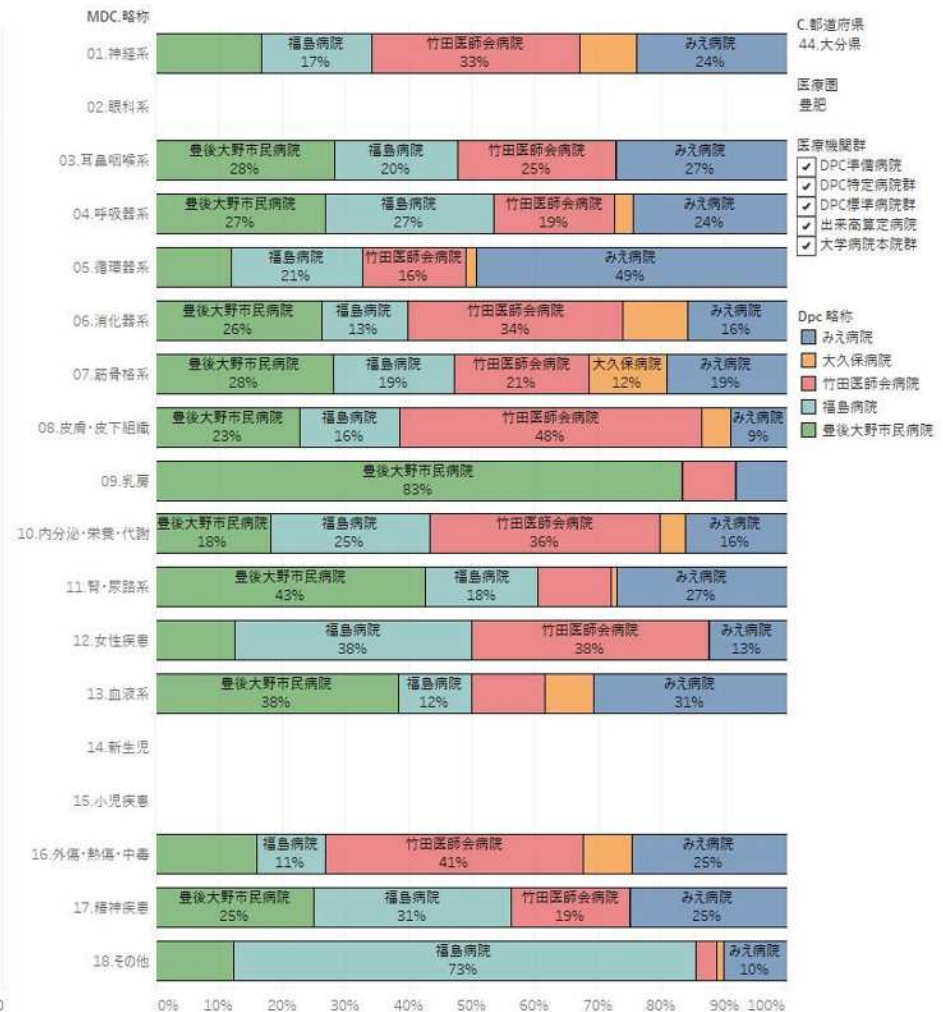
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 症例数では竹田医師会病院が最多、次いで豊後大野市民病院となる。

MDC別件数



MDC別件構成比

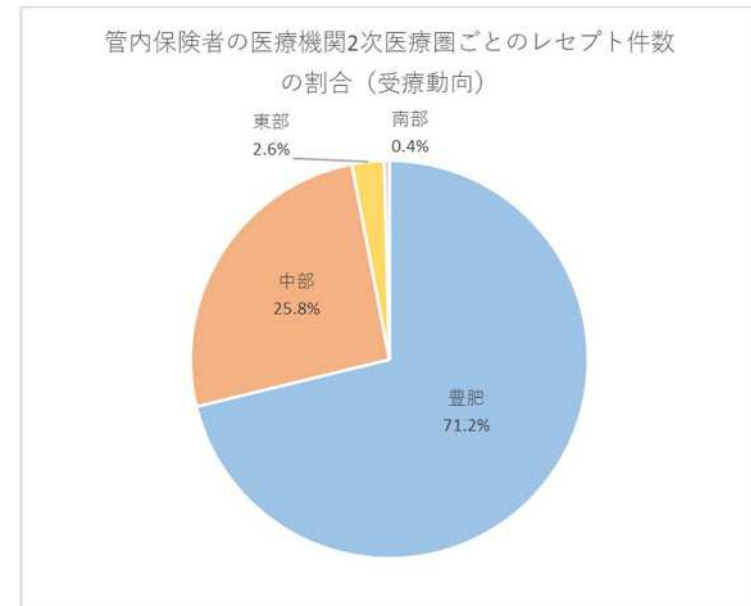
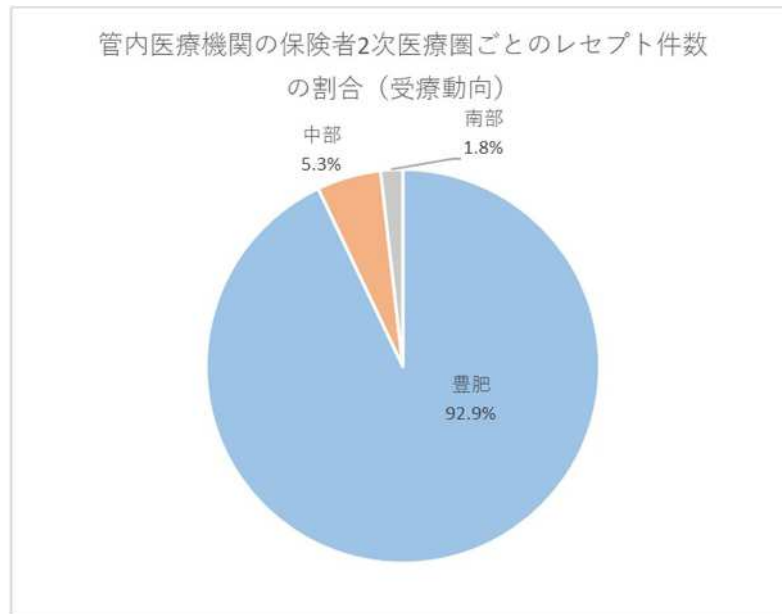


国保、後期高齢レセプトからみた受療動向：一般入院基本料

国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計。

➡ 医療需要の絶対量を把握することには適さない点に注意。

- ・豊肥医療圏の医療機関が受け入れた入院患者（一般）の約93%が同医療圏内。
- ・豊肥医療圏の入院患者（一般）が入院した医療機関の約29%が他医療圏（主に中部）。



○管内医療機関における保険者2次医療圏ごとのレセプト件数

医療機関2次医療圏	保険者2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	3033件	92.9%
豊肥	中部	172件	5.3%
豊肥	南部	59件	1.8%

○管内保険者の医療機関2次医療圏ごとのレセプト件数

保険者2次医療圏	医療機関2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	3033件	71.2%
豊肥	中部	1098件	25.8%
豊肥	東部	112件	2.6%
豊肥	南部	17件	0.4%

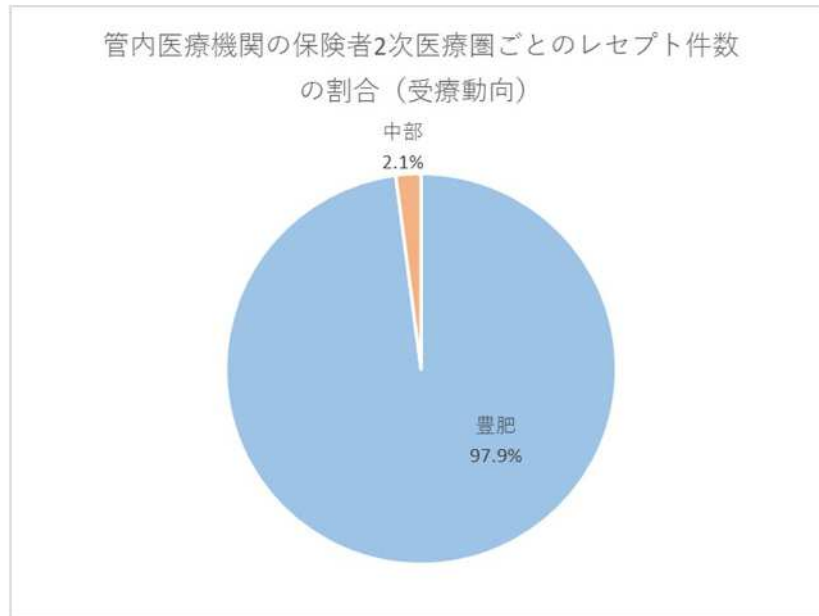
（出典：医療計画策定支援オンラインデータブック、受療動向データ（令和5年度診療分NDB、国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプト）を基に作成）

国保、後期高齢レセプトからみた受療動向：療養病棟入院基本料

国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計。

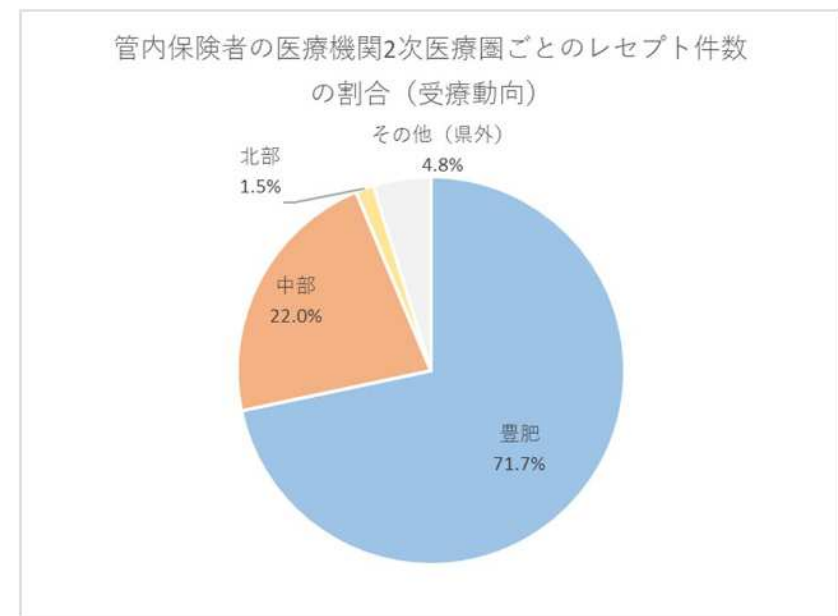
➡ 医療需要の絶対量を把握することには適さない点に注意。

- ・豊肥医療圏の医療機関が受け入れた入院患者（療養病棟）の約97 %が同医療圏内。
- ・豊肥医療圏の入院患者（療養病棟）が入院した医療機関の約28 %が他医療圏（主に中部）。



○管内医療機関における保険者2次医療圏ごとのレセプト件数

医療機関2次医療圏	保険者2次医療圏	レセプト件数	割合 (%)
豊肥	豊肥	567件	97.9%
豊肥	中部	12件	2.1%



○管内保険者の医療機関2次医療圏ごとのレセプト件数

保険者2次医療圏	医療機関2次医療圏	レセプト件数	割合 (%)
豊肥	豊肥	567件	71.7%
豊肥	中部	174件	22.0%
豊肥	北部	12件	1.5%
豊肥	その他（県外）	38件	4.8%

※その他（県外）：熊本県、長崎県

（出典：医療計画策定支援オンラインデータブック、受療動向データ（令和5年度診療分NDB、国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプト）を基に作成）

医療需要 推計在宅患者数：豊肥医療圏

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 後期高齢者の増加により在宅医療需要は2040年以降大きく減少する見込み。

図1：年齢階級別の在宅医療患者数の推計

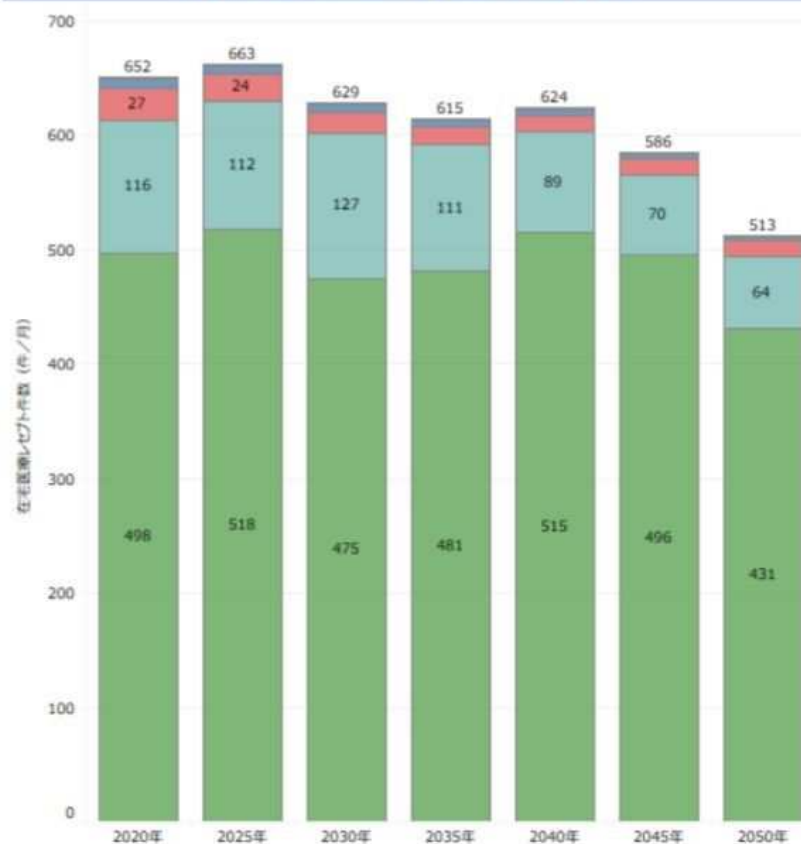
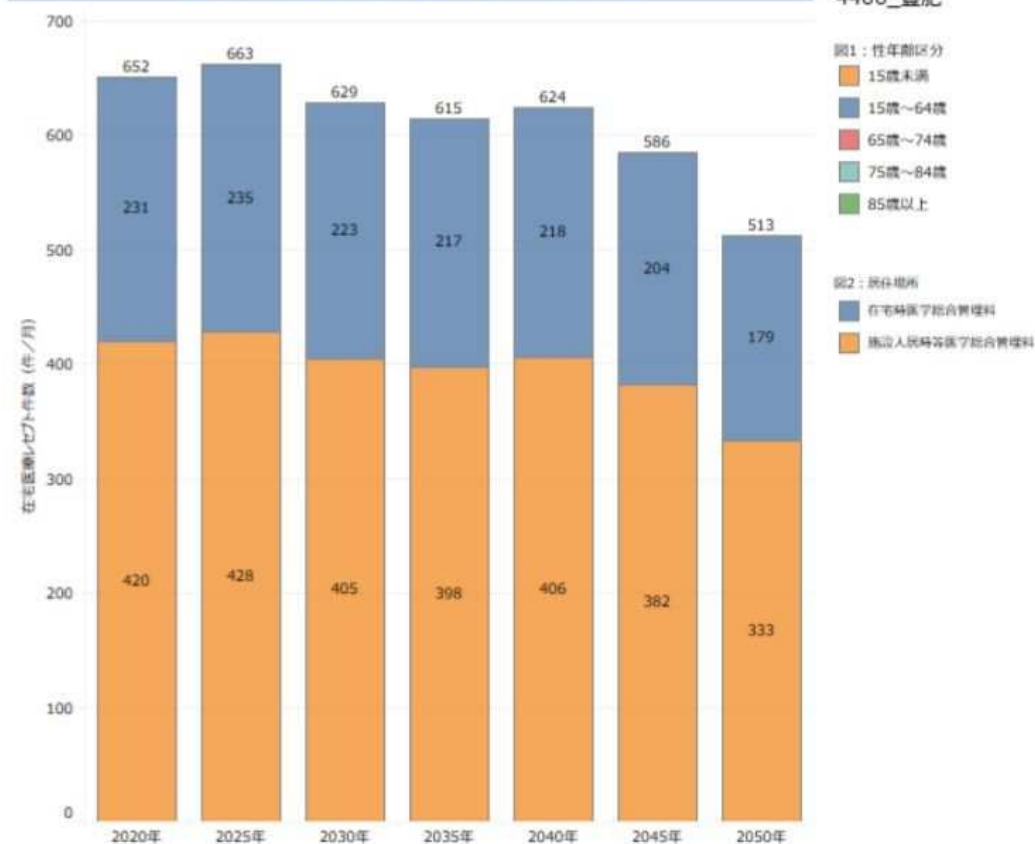


図2：居住場所別の在宅医療患者数の推計



出典：「人口推計（2019年10月1日現在）」（総務省統計局）及び第6回NDBオープンデータ（厚生労働省）：2019年4月～2020年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算
その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

医療需要 推計要介護者数：豊肥医療圏

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- ・高齢者の増加により介護需要は2020年に既にピークを迎えており、以降減少すると予想される。
- ・要介護度の高い患者が増加する中で限られた働き手の中で対応できるのか懸念がある。

図1：年齢別の要介護者数の推計

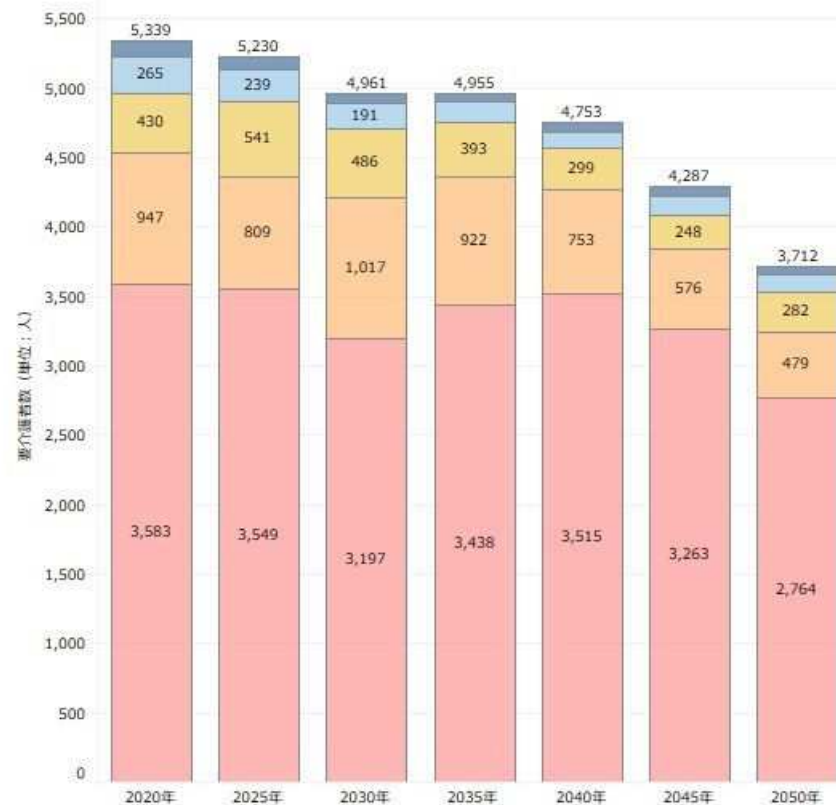


図2：年齢別の要介護者数の増減割合



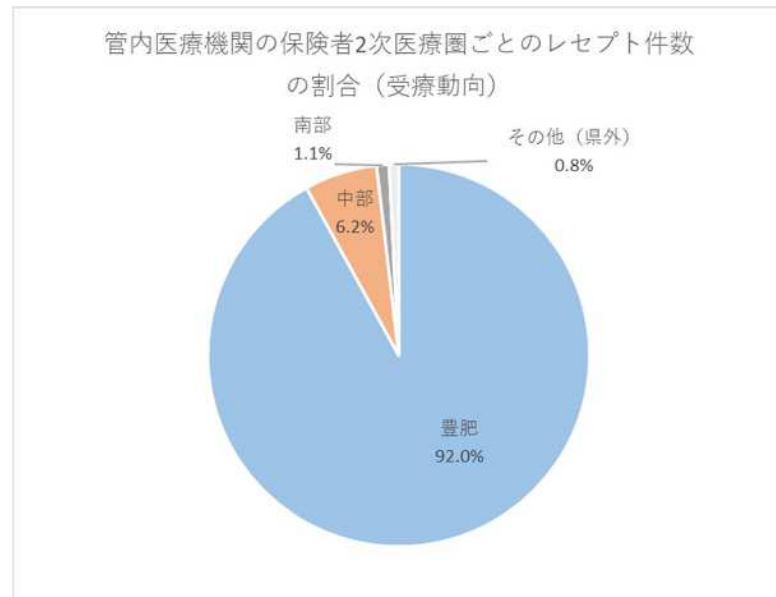
出典：「人口推計（2019年10月1日現在）」（総務省統計局）及び「令和元年度介護保険事業状況報告（年報）」表04-1＜都道府県別＞要介護（要支援）認定者数（厚労省）を用いて発生率を計算
その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

国保、後期高齢レセプトからみた受療動向：訪問診療（全体）

国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計。

→ 医療需要の絶対量を把握することには適さない点に注意。

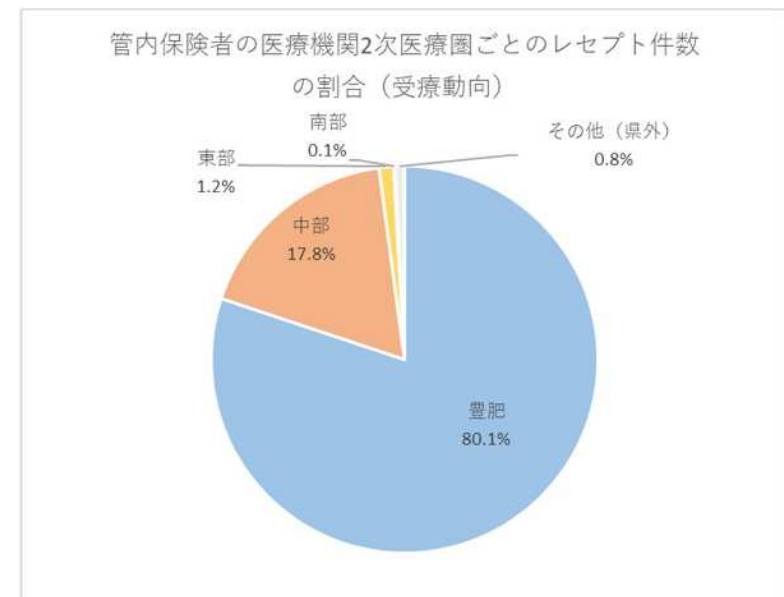
- ・豊肥医療圏の医療機関が訪問診療を提供した患者の92%が同医療圏内。
- ・豊肥医療圏の訪問診療患者が利用した医療機関の約20%が他医療圏（主に中部）。



○管内医療機関における保険者2次医療圏ごとのレセプト件数

医療機関2次医療圏	保険者2次医療圏	レセプト件数	割合 (%)
豊肥	豊肥	5922件	92.2%
豊肥	中部	397件	6.2%
豊肥	南部	68件	1.1%
豊肥	その他（県外）	45件	0.8%

※その他（県外）：宮城県、京都府、熊本県、宮崎県



○管内保険者の医療機関2次医療圏ごとのレセプト件数

保険者2次医療圏	医療機関2次医療圏	レセプト件数	割合 (%)
豊肥	豊肥	5922件	80.2%
豊肥	中部	1313件	17.8%
豊肥	東部	90件	1.2%
豊肥	南部	10件	0.1%
豊肥	その他（県外）	49件	0.8%

※その他（県外）：東京都、愛知県、佐賀県、福岡県

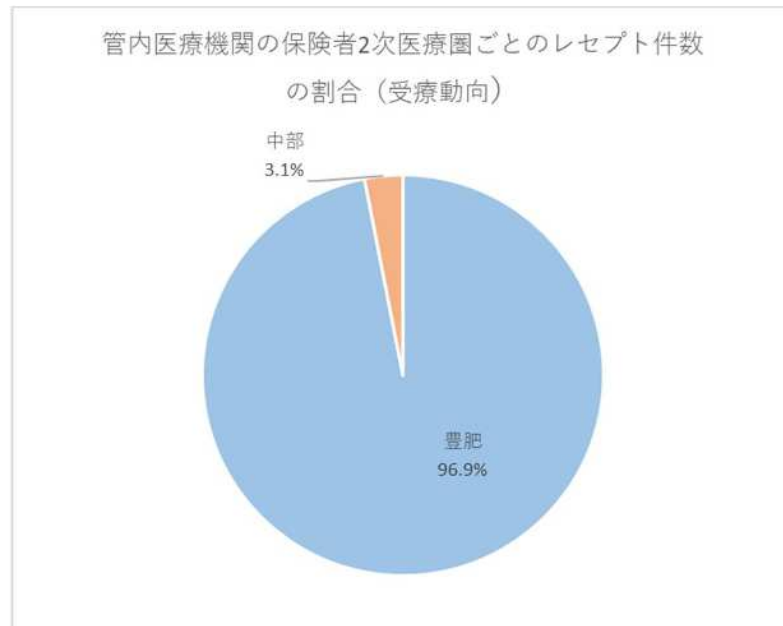
（出典：医療計画策定支援オンラインデータブック、受療動向データ（令和5年度診療分NDB、国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプト）を基に作成）

国保、後期高齢レセプトからみた受療動向：訪問看護提供

国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計。

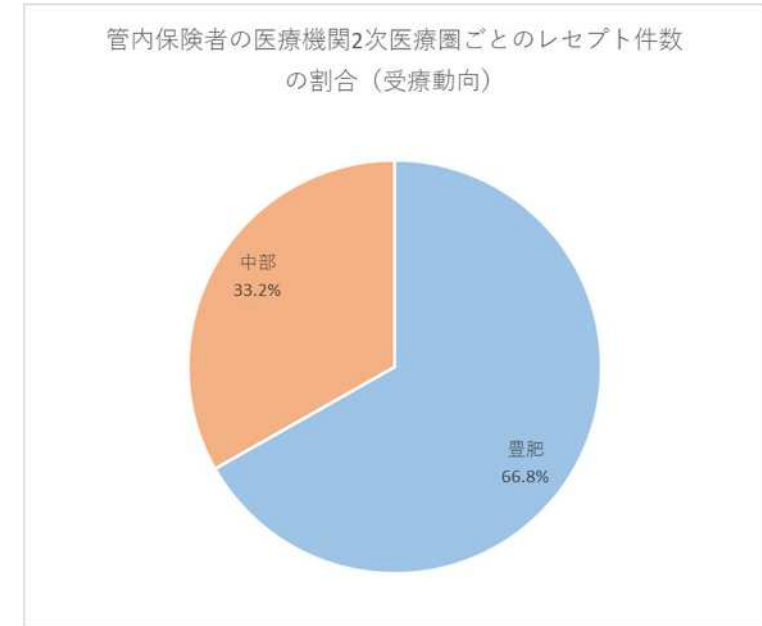
→ 医療需要の絶対量を把握することには適さない点に注意。

- ・豊肥医療圏の医療機関が訪問看護を提供した患者の約97%が同医療圏内。
- ・豊肥医療圏の訪問看護患者が利用した医療機関の約33%が中部医療圏。



○管内医療機関における保険者2次医療圏ごとのレセプト件数

医療機関2次医療圏	保険者2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	346件	96.9%
豊肥	中部	11件	3.1%



○管内保険者の医療機関2次医療圏ごとのレセプト件数

保険者2次医療圏	医療機関2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	346件	66.8%
豊肥	中部	172件	33.2%

（出典：医療計画策定支援オンラインデータブック、受療動向データ（令和5年度診療分NDB、国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプト）を基に作成）

医療需要

救急搬送件数：豊肥医療圏

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 救急搬送件数は2020年に既にピークを迎えており、以降減少すると予想される。
- 搬送患者に占める高齢者の割合が年々増加することが予想される。

図1：年齢別の救急搬送件数の推計

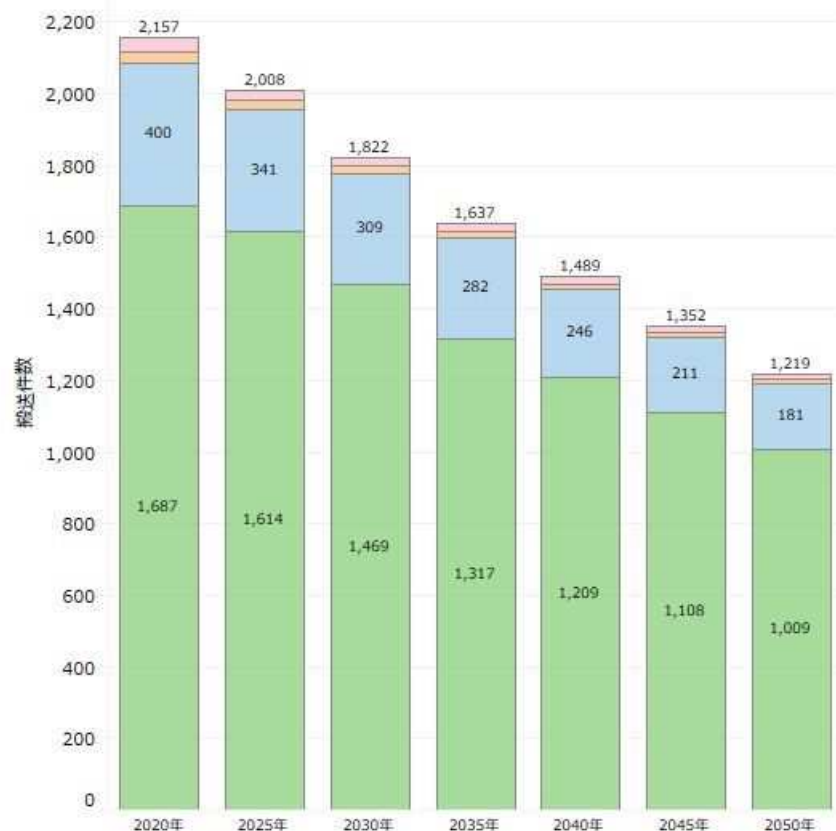
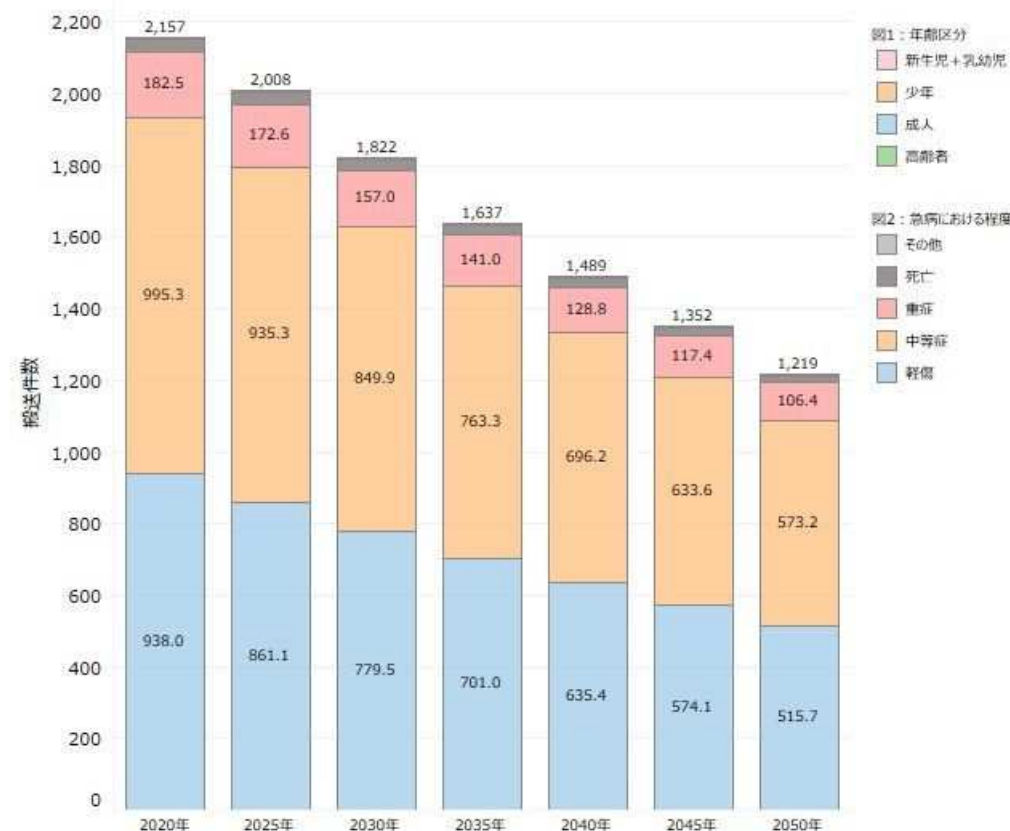


図2：傷病程度別の救急搬送件数の推計



出典：「人口推計（2019年10月1日現在）」（総務省統計局）及び「救急救助の現況 2020年番（2019年度調査）」（総務省）を用いて発生率を計算
その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

医療供給体制 救急医療に関する指標

2025/3/14
大分県地域医療構想セミナー資料から抜粋
(提供：株式会社日本経営)

- 救急車の受け入れは竹田医師会病院、豊後大野市民病院、みえ病院が中心となって対応している。

救急指標（医師数と受入）

設定中の構想区域：4406_大分県_豊肥

設定中の市区町村：すべて

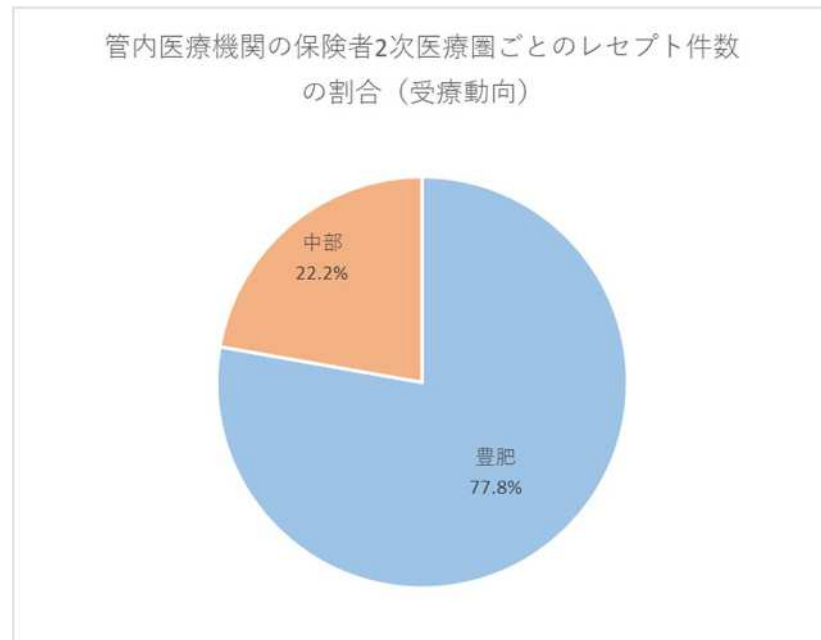


国保、後期高齢レセプトからみた受療動向：夜間休日救急搬送

国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計。

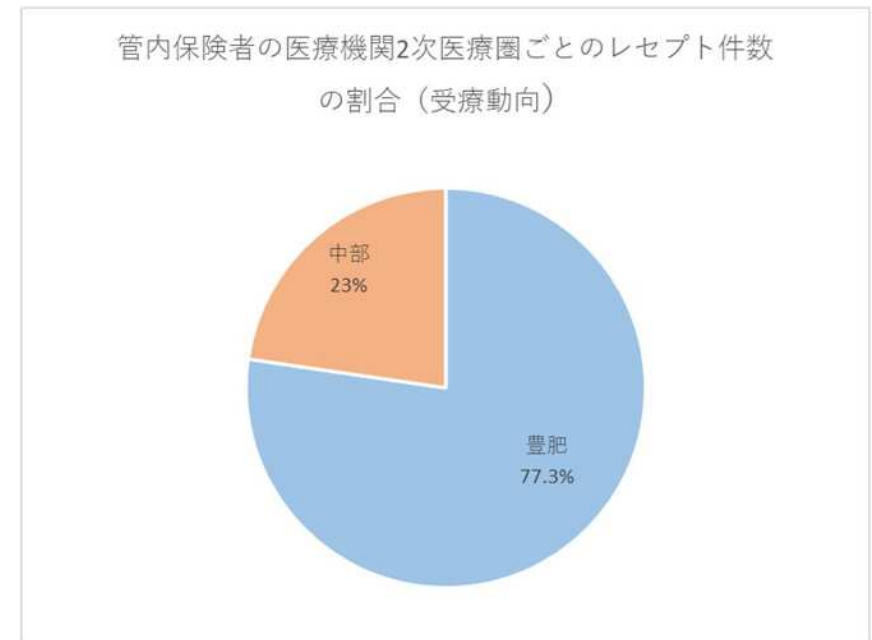
→ 医療需要の絶対量を把握することには適さない点に注意。

- ・豊肥医療圏の医療機関が受入れた夜間休日救急搬送患者の約78%が同医療圏内。
- ・豊肥医療圏の患者が夜間休日救急搬送された医療機関の約23%が中部医療圏。



○管内医療機関における保険者2次医療圏ごとのレセプト件数

医療機関2次医療圏	保険者2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	385件	77.8%
豊肥	中部	110件	22.2%



○管内保険者の医療機関2次医療圏ごとのレセプト件数

保険者2次医療圏	医療機関2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	385	77.3%
豊肥	中部	113	22.7%

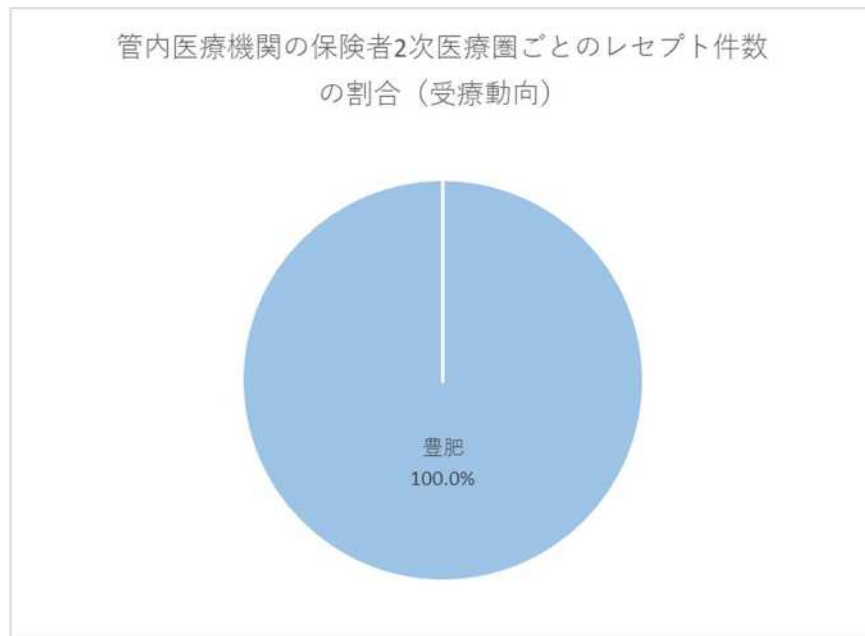
（出典：医療計画策定支援オンラインデータブック、受療動向データ（令和5年度診療分NDB、国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプト）を基に作成）

国保、後期高齢レセプトからみた受療動向：救急搬送

国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプトに絞り込んだレセプトを対象として集計。

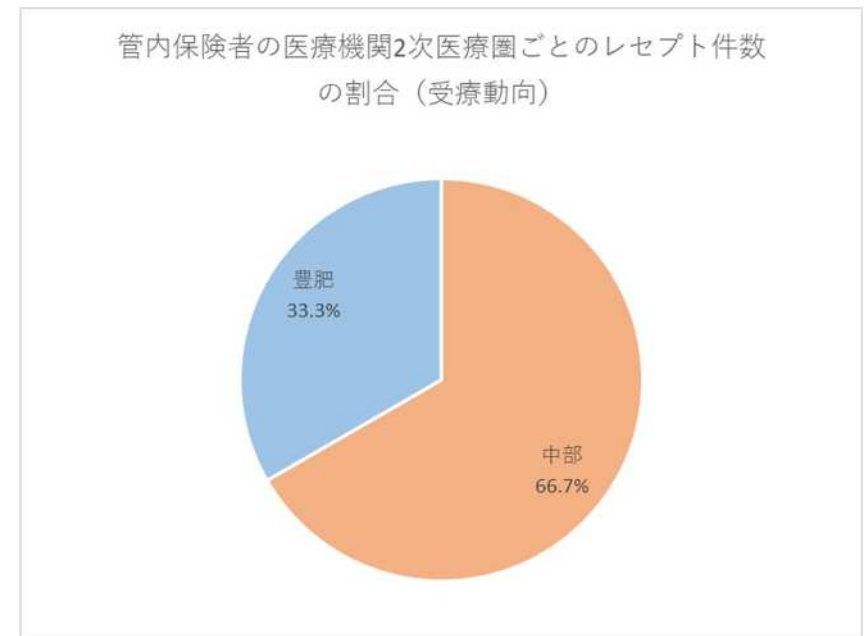
→ 医療需要の絶対量を把握することには適さない点に注意。

- ・豊肥医療圏の医療機関が受入れた救急搬送患者は概ね100%同医療圏内。
- ・豊肥医療圏の患者が救急搬送された医療機関の約67%が中部医療圏。



○管内医療機関における保険者2次医療圏ごとのレセプト件数

医療機関2次医療圏	保険者2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	豊肥	20件	100%



○管内保険者の医療機関2次医療圏ごとのレセプト件数

保険者2次医療圏	医療機関2次医療圏	レセプト件数	割合(%)
豊肥	中部	40件	66.7%
豊肥	豊肥	20件	33.3%

（出典：医療計画策定支援オンラインデータブック、受療動向データ（令和5年度診療分NDB、国保（国保組合を除く）・後期高齢レセプト）を基に作成）